

関西生コン労働組合弾圧は たたかう労働運動根絶の一里塚 ＝市民運動へ共謀罪適用の前触れ＝

「関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない
東海の会」
事務局長 近森泰彦

☆関西生コン弾圧の背景

オリンピックを来年に控え、道路建設や40年以上経過した大型ビルの建て替えなどで東京、横浜、大阪、名古屋をはじめ大都市圏では建設ラッシュでこれに伴って生コン需要もピーク状態が続いています。生コンの「鮮度」は90分が限度でこのために地域ごとに小・零細企業によって供給を支えています。この業界は上流のセメント製造独占、下流のゼネコンに挟まれ大企業の圧力を受けて苦しい経営を強要されてきました。1960年代に企業内組合ではたたかえないと自覚した労働者によって地域で生コン労働者を組織する活動が始まりました。このようにして今日に続く関西生コン労働組合が創られ、あわせて「中小企業協同組合法」を活用して経営者にも共同を呼びかけ労働組合と経営者が結束して上・下流の大企業と交渉を重ね生コン販売価格の引き上げに努めてきました。この結果、関西では1㎡・17000円の生コン価格を実現することができました。因みに愛知は1万円程、東京は1万1千円程とかなり低い価格に抑え込まれたままです。

今回の弾圧は大企業の意を汲んだ政府（官邸）の指示によって警察庁が動きその指揮に従って滋賀県、京都府、大阪府、和歌山県の組織犯罪対策課（暴力団、麻薬密輸などの凶悪犯対応）が前面に出て非情な弾圧を繰り返しています。労働組合の通常の活動であるピラ配りやコンプライアンス（安全維持のために行う法令違反摘発）活動を威力業務妨害とし、宣伝カーの運行や抗議行動を強要未遂の罪名で組合員や良心的な経営者を次々に逮捕しています。この1年余りで逮捕者は延べ85人を超え未だに10名が勾留されたままです。現場にいなかった委員長はじめ幹部を逮捕し長期に釈放しないのは明らかに組合つぶしを狙ったことをうかがわせます。私はこの逮捕は共謀罪の適用訓練ではないかと危惧しています。8月に6度目の逮捕をされ、1年に亘って連続

して留置場に閉じ込められている武委員長は法廷で裁判長に向き合い「これは国家による関西生コン支部型の産別労働運動潰しの攻撃であり、まさに国策捜査だ。私は3回逮捕（最初：1981年、2回目：2005年1年拘留）今回の3回目は長期勾留を狙ったものだ。裁判所は行政に屈服している。民主主義の崩壊、社会的殺人だ」と厳しく追及しました。

旧、日経連（現、経団連）の大槻文平会長（当時）は、1982年に「関生型の労働運動は、資本主義を揺るがしかねない。箱根の山を越えさせてはならない」と語りました。

現場にいなかった武委員長や組合三役を逮捕したことは指導部を無力化し労働組合つぶしを狙ったものです。現場で警察官は「労働組合は企業内で活動するものだ！組合を脱退せよ！」などと被逮捕者や彼らの家族に脅しをかけ、逮捕された組合員の自宅捜査にあたっては多数の警官を家の周りに配置しものしきをつくりだすことによって近隣や地域の人々に「恐怖心」をうえつけ、子供たちを怯えさせる行為を繰り返しています。また、保釈金をつり上げ（1人数百万円）被逮捕者の家族の暮らしを支えている組合に極めて大きな財政上の困難を生じさせています。

この弾圧は国家権力（警察、検察、裁判所）が主導し経営者と彼らの差し金で動員されたヘイトグループ、暴力団も大掛かりな街頭行動を繰り返すという異常事態をも引き起こしています。

☆たたかう労働組合敵視・資本と政権の基本姿勢

この際、国家権力によるたたかう労働運動つぶしの経過を振り返っておきましょう。

1980年代、中曽根内閣は国鉄労働組合（国労）の解体を狙って国鉄民営化を強行しました。その結果、国鉄は解体されJR各社（JR6社と貨物会社）に分断され「国民の財産」が企業の儲けの場に変えられました。労働組合も各社別毎の企業内組合に再編され、今では企業（株主）利益を最優先する「搾取組織」に変えられてしまいました。このようにして三公社五現業（国鉄、電信電話、郵便など）がほとんど民営化され国民の暮らしに役立てる機関から利益を追求する民間企業に変えられてしまいました。この結果JR北海道やJR四国などでは経営が立ち行かない事態が生まれています。

JR東日本では企業内労働組合すら不要とする経営者の圧力によって4万人の企業内組合員に脱退を

呼びかけ約3万人を有無を言わず「社友会」に組織しました。そこでは一体何が起きているのか？

JR東日本は鉄道運行に関わる重要職場を含めて広範な業務の民営化を推し進めています。現場の人間関係が悪化し小事故（アクシデント）が絶えません。いつ大事故が発生しないか心配です。

また、オリンピックを控えて福島第一原発事故以降止まっていた富岡駅から浪江駅間を開通させ不通になっている常磐線全線の運行を強行しようとしています。双葉駅、大野駅、夜ノ森駅は今も年間50ミリシーベルト以上で帰還困難区域の双葉町と大熊町にあり、

この区間を通って列車は品川駅に入ってきます。会社は「車両には放射線物質は付着しない、だから測定もしない」と動労総連合との団体交渉で「回答」しています。乗務員と乗客を被曝の危険にさらすこのような「蛮行」を何故行うのか？オリンピック開催にあたって「福島原発はコントロールされている」と世界に向けて発信した安倍発言に縛られているとしか思えません。

日本郵便では過剰なノルマ下で数十万件に及ぶ簡易保険等不正契約が明らかになり、経営姿勢が社会問題になっています。「公務員時代」に比べ非正規労働者が現場の主体になり、正規労働者にはノルマと低賃金が押し付けられています。

このように労働組合の役割が根底から問われる問題が随所で起きています。

☆労働組合は組織の違いを横に置いて

連帯行動に立ち上ろう！東海の会結成へ

関生労組は過激な組合だ、「新左翼」系の支配化にある、不正な金をとっているなどの根拠のない声が聴えてきます。私は以前、関生コン労働組合が参加する協同組合会館を訪ねたことがあります。1階にコンクリート試験・研究設備が整えられた幾つかの部屋があって品質・強度・寿命の向上を目指して日常的に研究を重ねていることを知り感銘を受けました。

また組合は沖縄辺野古基地闘争はじめ地域で憲法と暮らしを守る運動に率先して取り組み、広く信頼を勝ち得ています。永らく日韓の労働者交流に取り組み、今回の弾圧に対して韓国労働組合から惜しみない支援が寄せられています。

労働組合（ユニオン）は組織の違い、考えの違いを横に置いてこの弾圧の真意を理解し、自らの問題と

して取り組む時ではないでしょうか。「この弾圧は労働組合の路線や系統の違いを超えた、労働者の権利と市民の自由にかかわる重大な問題であるこの刑事弾圧を見ずごすことは労働組合運動に大きな困難をもたらすばかりでなく、さまざまな市民運動・住民運動にも波及すると考えている」（東海の会結成趣旨から）このことをあらためて強く訴えます。

昨年秋からこの弾圧に関する情報を集め、話し合いを重ね本年4月27日に「ユニオンと連帯する市民の会」が呼びかけた懇話会の総意によって上記「東海の会」結成（6月29日）に至りました。当日はそれぞれ大事な会合が重なって心配でしたが130名の方々の参加で有意義な結成総会となりました。

東海の会は：

石田好江（愛知淑徳大学名誉教授）

大脇雅子（弁護士）、

柿山朗（元全日本海員組合全国委員）

熊沢誠（甲南大学名誉教授）

中谷雄二（弁護士）

の5氏を共同代表に選出しました。

東海の会発足後、毎月運営委員会を開いて当面の活動の具体化をはかることを確認しました。また、自覚した個人主体の組織に育てていこう！という合意の下でこの運動をすすめています。多くの方々に入会を呼びかけます。

カンパ送り先

■郵便振替

00970-8-282882

労働組合つぶしの弾圧を許さない実行委員会

■ゆうちょ銀行から】

記 号：14010

番 号：32578921

口座名：労働組合つぶしの弾圧をし許さない

実行委員会

■他の金融機関から

店 名：四〇八（ヨンゼロハチ）

店 番：408

預金種目：普通預金

口座番号：3257892

口座名：労働組合つぶしの弾圧をし許さない

実行委員会